



牛の皮膚真菌症対策は大丈夫ですか？

農場で耳の周囲などに特徴的に脱毛した皮膚炎の牛を見ることがありますが、皆さんの農場では大丈夫ですか。これは、カビが原因の皮膚炎です。今回は、その対策について説明します。

1 原因は？

牛で最も一般的なのはトリコフィートンベンザルという白癬（はくせん）菌でカビの仲間です。



まぶたや耳の周囲によく見られる。



首の部分に見られる白い円形脱毛

2 感染経路は？

感染すると皮膚に円形の脱毛部を作ります。この脱毛部には、無数のカビの胞子が存在し、これらが皮膚から皮膚、皮膚から壁、壁から皮膚へと感染が簡単に広がっていきます。

3 どんな牛が感染しやすいのですか？

このカビに感染しやすいのは、育成期の牛で、栄養状態の悪い牛、肺炎や下痢にかかっている牛など抵抗力が弱い場合や、飼育環境の悪い場合に多く見られます。

4 どんな対策がありますか？

- ①密飼を避け、牛にストレスがかからぬようにしましょう。
- ②小さな病変を見つけたら早めに治療してください。
- ③カビに効果のある消毒剤を霧吹きなどで患部に根気よく治るまで吹き付けてください。
(使用するときには、説明書を良く読んでください)
- ④獣医師に相談し、効果のある抗生剤や真菌軟膏を治るまで1日1回塗布してください。

5 その他

このカビは、牛だけではなく他の動物、人にまで感染します。人に感染した場合は、赤いリング状の病変が出来て、かゆみを伴います。(感染したら病院へ行きましょう。)

(使用した写真は、テレビドクターから引用しました)

